

ジュースを買って セルリオ島根をみんなでサポート



三成公園人工芝サッカー場入口に、セルリオ島根のチームマークと奥出雲町の町章が描かれた自動販売機が設置され、町関係者、セルリオ島根の監督・選手などが出席し、七月十七日、除幕式が行われました。

セルリオ島根は、ホッケー日本リーグに参戦するなど、全国的に活躍していますが、その一方で、強化費や遠征費など資金面での苦勞をされているのも実状です。

この自動販売機は、飲み物を買ったと、その二割がセルリオ島根に寄付される仕組みに

なっており、こうした資金面での問題解決の一助とするところが主な目的です。

セルリオ島根の松浦昇部長は、奥出雲町がホッケーのまちとして長く続けていくために、これを契機にして、セルリオ島根が一層頑張っていかなければならない」とあいさつされました。

また井上町長が購入者第一号となり、「いい汗をかいて、この自動販売機でジュースを買い、セルリオ島根にいい資金が入っていいと思う」とチームサポートを呼びかけました。

この自動販売機設置により資金面の問題解決だけでなく、誰もが気軽にセルリオ島根をサポートしているという、意識の高場につながっていくことが期待されます。

なっており、こうした資金面での問題解決の一助とするところが主な目的です。

セルリオ島根の松浦昇部長は、奥出雲町がホッケーのまちとして長く続けていくために、これを契機にして、セルリオ島根が一層頑張っていかなければならない」とあいさつされました。

また井上町長が購入者第一号となり、「いい汗をかいて、この自動販売機でジュースを買い、セルリオ島根にいい資金が入っていいと思う」とチームサポートを呼びかけました。

この自動販売機設置により資金面の問題解決だけでなく、誰もが気軽にセルリオ島根をサポートしているという、意識の高場につながっていくことが期待されます。

将来の地域医療を支えるチカラに 高校生が医療現場を体験



いのちの大切さを肌で感じました



医療関係への就職を希望する横田高校生十四人が、八月三日、町立奥出雲病院で看護師や助産師、介護福祉士など希望する職種について、実際の業務を体験しながら学びました。

この体験会は、医療職の将来的確保や高校生の職業教育支援、地域に開かれた病院づくりを目指して、六年前から実施されています。

助産師の実習では赤ちゃんの抱き方や体のしくみなどの説明を受け、実際に体温測定や脈拍測定などを行ったり、理学療法士の実習では、実際

に患者さんのリハビリ指導を行いました。

生徒たちは戸惑いつつも、看護師や理学療法士からの説明を受けながら、真剣に取り組み、医療現場の大変さや、いのちの大切さを実感していました。

また景山咲子総看護師長は「将来、地域医療を支える人が一人でも増えることを望んでいる。また、この実習を通して医療現場での喜びや達成感など普段私たちが感じている想いを、実際に生徒たちが感じてくれると嬉しいし励みになる」と話されていました。

懸命にプレイ

第27回中国小学生サッカー交流大会



懸命にプレイする子どもたち

第二十七回中国小学生サッカー交流大会が、七月十七日と十八日、三成公園人工芝サッカー場で開催されました。

今年も中国五県から男女合わせて三十三チーム（町内十九チーム）が参加し、熱戦が繰り広げられました。

この大会は、奥出雲町のホッケー競技底辺拡大と児童相互の連携を深めることを目的に行われています。

また県外のチームにとっても、一部、二部と幅広く参加できる大会であることから、目標の大会として、毎年多くのチームが参加しています。

選手たちは、二日間にわたって、家族やチームメイトから盛んな応援を受けながら懸命にボールを追いかけ、互いに交流を深めていました。

大会成績

- 男子一部**
 - 優勝 阿井小侍OROCHI
 - 準優勝 八川サムライブルー
 - 男子二部**
 - 優勝 郡家西ホッケー
 - 準優勝 スポーツ少年団（鳥取）
 - 女子一部**
 - 優勝 馬木小学校
 - 準優勝 ホッケースポーツ少年団
 - 女子二部**
 - 優勝 みなりホッケースポーツ少年団
 - 準優勝 みなりホッケークラブ
- 五・六年生中心のチームが一部、それ以外が二部

新たな目標づくりの第1歩 第一回奥出雲町総合計画審議会開催



まちづくりの新たな目標として策定される「奥出雲町総合計画」の第一回審議会が、七月二十三日、カルチャープラザ仁多で行なわれました。

はじめに、各専門分野から選ばれた二十四名の審議会委員一人ひとりに、井上町長から委嘱書が交付され、新町建設計画を展覧的に見直し、活力ある町を着実に築

いていくため、活発な議論をお願いするとともに、町の将来に向け忌憚のない意見を頂きたい」とあいさつがありました。

その後、会長・副会長の選出が行なわれ、会長に井上定彦島根県立大学教授、副会長に町自治会長連合会の岩佐捷治会長が就任されました。

会長に就任された井上教授は、「各委員と町民の方々のお力と知恵を借りて、この大切な仕事を務めさせて頂きたい」とあいさつされ、町長からの諮問を受け議事に入りました。

この日は、合併後五年間の成果と検証、町民満足度調査、総合計画の骨子についてなど六件の議事が審議されました。

また、産業振興、教育医療、生活環境の三分科会が設置されました。

今後は、この審議会による審議のほか、分科会や専門委員会での検討・協議を重ねられ、来年二月に審議会からの答申を受け、本年度内の計画策定完了を目指します。



集中して競技する参加者

「ねがいましては、」
百六十人がそろばん技術を競う

八月三日、奥出雲町商工会と雲州算盤協同組合の主催で、第四十三回雲州そろばん珠算競技大会が町民体育館において開催されました。

この日は、小学生から大人まで、県内外から約百六十人が参加し、珠算技術を競いました。

競技は、学年など四部門に分かれて、見取算、読み上げ暗算、フラッシュ暗算を行いました。

また暗算競技では、十万・百万単位の計算でも、多数の正解者が出るなど、レベルの高い競技会となりました。

(50音順、敬称略)

氏名	役職	
井上 定彦	島根県立大学教授	会長
岩佐 捷治	奥出雲町自治会長連合会会長	副会長
吾郷 益巳	議会福祉厚生常任委員会副委員長	
浅野 澄子	奥出雲町連合婦人会会長	
安部 文夫	奥出雲町土地改良区理事長	
井上 晃	雲南医師会仁多ブロック長	
岩田 明人	議会産業建設常任委員会委員長	
笠松 浩樹	島根県中山間地域研究センター専門研究員	
齋藤 茂子	島根県立大学短期大学部教授	
佐伯 俊之	仁多郡森林組合専務理事	
作野 広和	島根大学教育学部准教授	
佐藤 勇人	島根県立横田高等学校校長	
佐藤 陽子	奥出雲町商工会女性部部长	
田中 和夫	奥出雲町社会福祉協議会会長	
田中 伸和	奥出雲町商工会青年部部长	
田部 隆義	奥出雲町自治会長連合会副会長	
塔村 俊介	議会総務文教常任委員会委員	
藤原 一利	奥出雲町農業委員会会長職務代理	
藤原美恵子	雲南保育研究会副会長	
藤原 充博	議会福祉厚生常任委員会委員	
村尾 明利	議会総務文教常任委員会委員	
若月 忠男	議会産業建設常任委員会副委員長	
渡部 一夫	奥出雲町商工会会長	
渡部 正弘	奥出雲町農業者会会長	